

Shikoku Railway Company

# JR四国グループ事業計画2026

2026.3.31

- 将来のありたい姿
- MISSION
- BASIC POLICY 2026
- 重点実施項目
- セグメントの取組み
  - ▶ 運輸セグメント（鉄道・バス）
  - ▶ ホテルセグメント
  - ▶ 駅ビル・不動産セグメント
  - ▶ 飲食・物販セグメント
  - ▶ 建設セグメント
  - ▶ ビジネスサービスセグメント
- 収支計画（連結）
- 参考データ
  - ▶ 収支計画（単体）
  - ▶ セグメント別収支
  - ▶ 設備投資計画（単体・グループ会社）
  - ▶ JR四国グループ一覧

私たちが目指す

## 将来のありたい姿

---

鉄道を中心としたモビリティの提供及び  
まちづくりを通じた様々な事業を展開し、  
交流人口の拡大と地域の発展に貢献するとともに、  
新しい価値・サービスの創造にチャレンジすることで、  
従業員が誇りを持ち、生き生きと働ける企業グループを目指します。

将来のありたい姿、その実現に向けて

## MISSION

---

「地域とともに、『公共交通ネットワークの四国モデル』を追求する」

「訪れたい・暮らしたいと感じる、にぎわいとおもてなしにあふれる四国をつくる」

「新しい価値・サービスの創造にチャレンジする」

# BASIC POLICY 2026

グループ基本方針

2026年度は、これまでの歩みを継承し、  
**未来を創り出すスタートの年度**である。

中期経営計画2030の初年度として、安全・安心・信頼の確保を前提に、以下の基本方針のもと各種施策にグループ一体となって取り組むことで、中期経営計画2030に掲げる「**連結償却前経常利益90億円※**」の達成を目指します。

※ 経常利益 + 減価償却費 - 経営安定化特別債券利息

## 1. 収益拡大及び利益率・資産効率の向上

各セグメントの業種・業態の動向を踏まえ、より一層の収益拡大を目指すとともに、利益率・資産効率の向上を図ります。

## 2. 次なる変革を加速し、持続的成長に向けた事業ポートフォリオを目指す

中期経営計画2030の目標を達成するために、これまでに築いてきた基盤と、取組みから得た成果・課題を踏まえ、次なる変革を加速し、持続的成長に向けた事業ポートフォリオを目指します。

## 3. 人材の確保・育成・定着施策の深化

将来の更なる発展を目指して、人材の確保・育成・定着に向けた取組みを継続して深化させます。

## 4. サステナブルな企業活動を推進

企業価値を持続的に向上させるという長期的視点のもと、取組みを推進します。

## 重点実施項目

鉄道事業における  
収益の維持・確保利便性向上と利用促進施策の  
展開による収益の維持・確保

- ▶ イベント等に伴う需要の取り込み
  - ・特急「しおかぜ」・「南風」運行開始55周年
  - ・あなぶきアリーナ香川でのイベント 等
- ▶ 3600系ハイブリッド式ローカル車両の営業  
運転開始
- ▶ 8000系特急電車等のリニューアル工事
- ▶ 更なるサービス向上施策の推進
  - ・「しおかぜ」・「南風」の全席指定席化
  - ・徳島駅への自動改札機導入
  - ・「JR四国スマート改革」の推進
- ▶ 観光列車のブラッシュアップ
- ▶ インバウンド需要の取り込み
  - ・海外旅行会社へのセールス強化
  - ・インバウンド向け商品のデジタルパス導入拡大

構造改革の  
前進生産性の向上、「公共交通  
ネットワークの四国モデル」追求

- ▶ 支援措置を活用した設備投資による  
省力化・省人化
- ▶ デジタル化による効率化やワークスタ  
イルの変革、徹底的な業務の見直し
- ▶ 「5カ年推進計画2021～2025」の「総括  
検証及び事業の抜本的な改善方策の検  
討」等を踏まえた取組みの推進
- ▶ 自動化機械導入、AIの活用等による  
業務効率化及び生産性向上
- ▶ グループ再編による競争力強化と管理  
コスト削減

非鉄道事業における  
収益拡大及び利益率向上将来のグループ経営を支える事業の  
確立に向けてグループ全体での  
取組み強化

- ▶ 各セグメントにおける成長戦略に基づいた  
施策の着実な実施による、更なる事業  
拡大、収益拡大及び利益率向上
- ▶ 新規事業の推進  
サーモン陸上養殖事業等、成長を支える  
事業の確立
- ▶ 人事交流等によるノウハウの蓄積を通じた  
成長を支える中核人材の育成
- ▶ M&A戦略等の実行
  - ・事業ポートフォリオ強化、連結収益を拡大
  - ・シナジー最大化による収益拡大と企業価値  
向上
  - ・海外M&Aの検討



# 運輸セグメント

中期経営計画2030の達成に向けて

## 「安全の確保」が事業運営の根幹であることを前提とした、更なる体質改善 を目指す

特急「しおかぜ」・「南風」運行開始55周年を契機としたキャンペーンの展開、イベント開催等に伴う需要を確実に取り込みます。  
また、省力化・省人化施策の着実な推進により生産性の向上を図り、構造改革を進めます。

### 1 鉄道事業について

#### 2026年度 基本方針

- 利便性向上と利用促進施策の展開による、**収益の維持・確保**
- 省力化・省人化による生産性向上、ワークスタイル変革等による**構造改革の前進**
- 利用しやすい環境づくりや利用促進に向けた**他モビリティとの連携**

主要施策及び取組み

#### (1) 事業運営を支える土台づくり

##### 安全・安心・信頼の確保

- ▶ 「中期安全推進計画2030」に基づく取組みの推進
- ▶ お客様満足（CS）の向上
  - ・デジタルサイネージ等を活用した適宜適切な情報提供
  - ・AIを活用したサービス等の導入による利便性向上
  - ・研修や資格取得の促進による接客対応能力の向上 等
- ▶ サステナブルな社会の実現を目指した取組みの推進
  - ・環境に配慮した事業活動の推進、2050年カーボンニュートラルに向けた施策の展開、3600系ハイブリッド式ローカル車両の営業運転開始
  - ・省エネ・省資源・廃棄物削減等環境保全活動の深度化 等
- ▶ コーポレート・ガバナンスの強化に向けた取組みの継続
- ▶ 「JR四国グループ情報セキュリティ基本方針」に基づく情報セキュリティの強化

##### 生き生きと働ける職場づくり

- ▶ 働きがいの創出
  - ・労働条件改善等エンゲージメント向上につながる施策の検討・推進等
- ▶ 働きやすい職場環境づくり
  - ・心理的安全性の高い職場環境づくりの推進
  - ・多様で柔軟な働き方を実現する勤務制度の見直し
  - ・本社オフィスの順次リニューアル・オフィス環境のリデザインによるエンゲージメント向上 等
- ▶ 人材の確保・育成・定着
  - ・SNS等を活用した情報発信や自治体等と連携した説明会の実施、エリア採用制度等の認知度向上等による応募数拡大の取組み
  - ・高度人材、特定技能の在留資格を持った外国人の採用
  - ・即戦力となる経験者の積極的な採用
  - ・特例子会社設立による、障がい者雇用の更なる拡大、雇用環境の整備
  - ・JR四国グループ一体となった技術・ノウハウの継承
  - ・公募型研修の充実、社内通信教育受講の促進
  - ・エンゲージメントサーベイを活用し人材の定着につながる施策の実施 等



## 運輸セグメント

### (2) 経営基盤強化

#### 鉄道運輸収入の安定的な確保

- ▶ イベント等に伴う需要の着実な取り込み  
特急「しおかぜ」・「南風」が運行開始55周年を迎えることを契機としたキャンペーン展開、あなぶきアリーナ香川でのイベント開催等に伴う需要の取り込み
- ▶ 「しおかぜ」「南風」の全席指定席化
- ▶ 3600系ハイブリッド式ローカル車両の営業運転開始
- ▶ リニューアル工事推進  
8000系特急電車、ローカル気動車
- ▶ 「JR四国スマート改革」の推進  
・「スマえき」・「e5489」の利用拡大や広告宣伝のデジタル化等  
・WEB広告の特性を發揮した効果的なコマーシャルの実施
- ▶ アンパンマン列車のブラッシュアップ
- ▶ ものがたり列車のブランド力強化の継続
- ▶ インバウンド需要の取り込み  
セールス強化、ALL SHIKOKU Rail Passのデジタルパス導入拡大
- ▶ 運賃・料金改定の検討

#### 省力化・省人化による生産性向上

- ▶ 徳島駅への自動改札機導入
- ▶ 自動化機械導入による多度津工場近代化の推進
- ▶ 軌道モニタリング装置の導入推進
- ▶ 機械・建築総合管理システムの構築
- ▶ AI活用を含むデジタル化推進による業務効率化の継続

### (3) 地域等関係者との連携・協力

#### 「公共交通ネットワークの四国モデル」の追求

- ▶ 適切な公共交通ネットワークのあり方や鉄道の活かし方の検討  
・適切な公共交通ネットワークのあり方、鉄道の活かし方等の検討の推進  
・利用者や地域戦略の視点に立った利便性と持続可能性の高い地域公共交通ネットワークの実現に向けて、「5カ年推進計画2021～2025」の「総括検証及び事業の抜本的な改善方策の検討」や「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」等を踏まえた取組み推進
- ▶ 都市間輸送の抜本的な高速化に向けた地域と連携した取組み  
・関係者とともに鉄道の抜本的な高速化の早期実現に向けた取組み推進  
・鉄道による抜本的な高速化の必要性について、広く周知を継続
- ▶ 鉄道を利用しやすい環境づくりと利用促進への取組み  
・パターンダイヤの更なる拡大・タクトダイヤの定着  
・徳島バス(株)との共同経営をはじめとした鉄道と他モビリティとの連携  
・地域によるMaaS事業への参画 等

#### 地域社会との連携

- ▶ 駅周辺の活性化と交通結節機能強化に向け、松山駅周辺のまちづくりの早期実現を目指した検討・推進
- ▶ 自治体と連携した、駅前広場や駅舎等の駅周辺整備の検討・整備
- ▶ 四国への来訪のきっかけづくりや関係人口の拡大に向けた「四国のお宝」で発掘した観光素材や地域製品の発信
- ▶ 四国の地域振興・観光振興に志を持つ企業や団体等で構成する「四国サポーターズクラブ」のネットワークを活用し、更なる活性化に向けた広範な取組みを展開



## 運輸セグメント

### 2 バス事業について

#### 2026年度 基本方針

- 安全輸送の確保を根幹に、お客様に安心してご乗車いただける**体制の強化**
- 将来に亘り安定的に**黒字計上が可能な経営体質への転換**
- **人材の確保・育成・定着**や業務運営の効率化、**コストを意識した業務運営**の推進

#### 主要施策及び取組み

#### 安全・安心・信頼 の確保

- ▶ 車間距離の確保や法定速度及び規制速度の遵守について**指導強化**
- ▶ **安全研修の継続的な実施**  
乗務員特別研修、指導運転係研修、定年後再雇用乗務員研修、乗務員フォローアップ研修、部外研修の拡充等
- ▶ **各種訓練の実施**  
運転事故や車両火災などの異常時を想定した訓練の実施等
- ▶ 定期健康診断、脳検診・睡眠時無呼吸症候群検査結果を基に、**健康管理面談を実施**
- ▶ **車両管理システム**の導入による定着化と修繕履歴等のデータ共有による車両故障の防止

#### 収入の確保及び 利便性の向上

- ▶ 特別企画乗車券の**海外OTAでの販売**
- ▶ 回数券等の**WEB化の推進**
- ▶ **運賃改定の検討**
- ▶ 利便性の向上を目指した**ダイヤ改正**の検討
- ▶ お客様の動向に応じた割引施策の見直し
- ▶ 車両の更新による**快適性の向上**

#### 人材の確保、育成及び 業務運営の効率化

- ▶ 乗務員不足の解消に向けた新たな**採用促進施策の模索**及び**採用条件の見直し**の検討
- ▶ **業務効率の向上**  
「ナビダイヤル」の定着化、Web予約への誘導推進による業務効率化
- ▶ 間接部門の**デジタル化による効率化**及び運行・販売部門の**コストを意識した業務運営の推進**
- ▶ 点呼業務の効率化を目的としたIT点呼システムの導入に向けた検討
- ▶ サイバーセキュリティ対策の強化を図るため、**情報セキュリティガイドライン**を策定及び周知



## ホテルセグメント

中期経営計画2030の達成に向けて

各ホテルが地域ナンバーワンホテル※を目指し、全国でも選ばれるホテルグループへ成長する

※その地域内で、顧客満足度(CS)、従業員満足度(ES)が高いこと。

全国展開を見据え、まずは中国四国地方を中心とするエリアに集中的に新規出店を行うとともに、ホテルグループとしての本部機能・運営力を強化します。

2026年度  
基本方針

- 安全・安心で上質な空間とサービスを提供し、ホテルのブランド力を高め、収益・利益の拡大と資産効率の向上を図る
- 持続的な成長に向けたホテルグループとしての本部機能・運営力を強化する
- 競争力を強化できるホテル開発に取り組み、四国内外への出店拡大を進める

主要施策及び取り組み

## 安全・安心で上質な空間とサービスの提供

- ▶ 宿泊ニーズの変化やお客様評価に基づく、時代に対応した上質な空間・サービスの提供
- ▶ 品質管理システムの運用徹底による食の安全・安心の確保
- ▶ レベニューマネジメントセンターの設置、料飲営業・サービス方法、メニュー見直し等によるGOPの確保

## 持続的な成長に向けた本部機能・運営力の強化

- ▶ 各ホテルの管理業務の本部集約
- ▶ ホテル基幹システムの統一による業務効率化
- ▶ 人事制度や福利厚生制度の見直しによる永く働きやすい環境の整備、専門人材の確保・育成

## 競争力強化と四国内外への出店拡大

- ▶ 競合との差別化が図れる新ブランドの構築
- ▶ 新規出店候補地、リブランド案件の情報収集強化と多様な出店形態による出店拡大

## 空き家等再生事業の推進

- ▶ 4S STAYブランドの出店加速による収益の拡大と、それを通じた空き家等社会課題への対応
- ▶ 事業基盤構築に向けた運営体制の強化



## 駅ビル・不動産セグメント

中期経営計画2030の達成に向けて

### 総合不動産事業の確立に向けた高い成長を目指す

駅ビルをはじめとする賃貸型事業と、分譲マンションをはじめとする開発売却型事業の2本柱にプロパティ・マネジメント(施設管理)事業を加えた事業ポートフォリオを目指します。

#### 2026年度 基本方針

- 駅周辺エリアの価値向上やまちづくりを通しての四国の活性化、お客様に喜んでいただける住環境の提供等による**地域社会の豊かな発展に取り組む**
- 駅ビル事業では、ターミナル駅の持つポテンシャルを最大限に引き出し、街の「顔」として人が集い、**にぎわいあふれる拠点を目指す**
- 不動産事業では、分譲マンションをはじめとする開発売却型事業と保有による賃貸型事業の2本柱に、プロパティ・マネジメント(施設管理)事業を加えた事業ポートフォリオにより**収益・利益の拡大を図る**

主要施策及び取り組み

#### 駅ビル

- **松山の魅力を最大限発揮しうる駅周辺開発の推進**
  - ▶ 行政、関係者を巻き込んだ駅周辺地区まちづくりの推進及びエリア全体の価値向上を目指した連携
  - ▶ 松山市のモデルプランを視野に入れた自社用地の収益・利益を最大化する開発計画の策定と推進
  - ▶ 開発エリアを活用したにぎわい創出
- **ターミナル駅を中心とした既存商業施設の持続的成長**
  - ▶ 空き区画等へのテナント誘致、計画的な既存テナントの入れ替え等による収益の拡大
  - ▶ 集客やにぎわい創出につながるイベント等の企画、実施
  - ▶ 運営力向上による各施設への集客、収益・利益の追求

#### 不動産

- **不動産収益・利益の最大化を目指した開発の推進**
  - ▶ 分譲マンションについて、つくば物件の完売、高松市番町物件の竣工及び販売促進並びに四国内及び首都圏で計画中の物件の着実な推進
  - ▶ 開発売却型事業における新たなアセットの獲得
  - ▶ 賃貸レジデンス等の取得推進及び取得物件の収益最大化への取組み推進
  - ▶ 開発売却型・賃貸型事業における事業エリアの拡大
  - ▶ コートヤード・バイ・マリオット高知の着実な推進
  - ▶ グループ保有不動産の活用による開発の推進
- **プロパティ・マネジメント事業の成長**
  - ▶ グループ保有及び管理業務を受託した資産の維持管理体制の最適化
  - ▶ 資産管理業務の効率化に向けたシステムの導入着手
  - ▶ 公共施設の指定管理などグループ外の資産管理業務の受注拡大
  - ▶ 収益不動産の利益最大化に向けたグループ一体となった取組み推進



## 飲食・物販セグメント

中期経営計画2030の達成に向けて

### 事業モデルの再構築及び「スクラップ&ビルド」による利益拡大を目指す

適切な目標管理によるマネジメントを強化・徹底するとともに業種業態の選択と集中等により、安定的な成長と利益率・資産効率の向上を図ります。

#### 2026年度 基本方針

- 安全・安心・品質を追求し、顧客満足度及び信頼の向上に努めるとともに、地域の特色やお客様のニーズを反映した商品企画・店づくりを行うことで収益拡大を目指す
- 適切な目標管理によるマネジメントを強化・徹底し、収支改善を図る
- 業種業態の選択と集中を行い、資産効率の向上を図る

主要施策及び取組み

#### 共通

##### ■ 「食の安全マネジメント」の強化・推進

- ▶ 新たな品質管理システムの運用徹底による衛生・品質水準の維持・向上
- ▶ 衛生講習会・内部監査・マネジメントレビューの実施による意識啓発・理解促進

##### ■ 「スクラップ&ビルド」による店舗の収益・利益の拡大

- ▶ 不採算事業・店舗からの撤退と業態変更
- ▶ 幅広いネットワークを生かした出店物件情報の取得と店舗拡大（飲食）
- ▶ 駅ナカ店舗の再配置（物販）
- ▶ 自社開発施設への出店検討（物販）

#### 飲食

##### ■ 店舗運営の見直しによる黒字体質の維持・向上

- ▶ ターゲットの明確化とニーズに合ったメニューの開発及び提供
- ▶ 客数・客単価・FL率等のKPI達成等によるマネジメント強化
- ▶ 店舗オペレーションの改善
- ▶ 本部管理機能の見直しによる収支改善

#### 物販

##### ■ 地域と暮らしにこだわった豊富な品揃え

- ▶ お客様のニーズに柔軟に対応した商品の提供
- ▶ 地域の魅力ある商品の導入、オリジナル商品の開発及び販路拡大
- ▶ グッズや催事など多様な企画等による新たな需要の掘り起こし



## 建設セグメント

安全を最優先とし、より品質の高い施工の実現に向けて取組みを推進します。

主要施策及び取組み

### グループへの貢献

- ▶ 工事の施工時期の平準化や効率的な施工による完工高拡大、新工法等による**省力化検討**
- ▶ 業務のシステム化等の計画的な導入による**生産性向上**

### グループ外収益の拡大

- ▶ 公共工事への対応に向けた**技術提案力の向上と現場技術者の育成**
- ▶ **他鉄道事業者からの受注継続**及び技術力を活かせる事業への応札
- ▶ **官公庁民間工事の受注拡大を計画的に推進**
- ▶ 事業拡大を目指した**M & Aの検討**

### 人材確保・育成・定着ほか

- ▶ 人材確保や技術継承に向けた**制度・教育体制等の拡充**
- ▶ 協力会社の作業員確保や工事管理者資格新規取得による**施工体制の強化**
- ▶ **待遇改善や福利厚生**の充実による人材の定着
- ▶ **KYT活動**やリスクアセスメントの深度化等による**安全管理体制の強化**



## ビジネスサービスセグメント

各社のもつ**技術力やノウハウ**を活かし、様々な分野で事業を展開します。

主要施策及び取組み

### グループへの貢献

- ▶ グループの**DX推進、セキュリティ対策強化**及び新規事業等を開発・展開
- ▶ 原価管理の徹底
- ▶ グループ内受注の拡大による**グループ収支改善**

### グループ外収益の拡大

- ▶ 技術力やノウハウを生かしたサービスの創成と**新市場への進出**
- ▶ **販売チャンネル拡大**に向けた積極的な営業活動
- ▶ 自治体のプロポーザルへの積極的な**参加・獲得**
- ▶ 事業領域の拡大に向けた**ノウハウの取得**

### 人材確保・育成・定着ほか

- ▶ 技術力向上のための教育や設備投資の実施
- ▶ 関連企業への人事交流等による技術・技能の向上、業務の効率化
- ▶ 人材の育成・定着を目指した管理者研修の体系化
- ▶ 業務の内製化による**利益率の向上**

## 収支計画（連結）

収支計画(連結)	事業計画	
	2025	2026
営業収益	560	767
(うち鉄道運輸収入)	(230)	(239)
営業費用	703	919
営業利益	▲143	▲152
経常利益	18	▲12
償却前経常利益※1	60	87

## 参考データ / 収支計画（単体）

収支計画(単体)	事業計画	
	2025	2026
営業収益	306	317
(うち鉄道運輸収入)	(230)	(239)
営業費用	471	486
営業利益	▲165	▲169
経常利益	6	▲19
償却前経常利益※1	42	71

## 参考データ / セグメント別収支

(単位：億円)

2025	営業収益	営業利益	償却前 経常利益※1、2
運輸	288	▲157	30
(うち鉄道事業(単体))	(258)	(▲160)	(25)
飲食・物販	68	1	2
建設	143	11	12
ホテル	79	8	14
駅ビル・不動産	76	▲4	3
ビジネスサービス	102	3	5
連結調整	(▲200)	(▲4)	(▲8)
連結	560	▲143	60
2026	営業収益	営業利益	償却前 経常利益※1、2
運輸	299	▲165	54
(うち鉄道事業(単体))	(267)	(▲166)	(50)
飲食・物販	69	1	2
建設	151	11	13
ホテル	93	1	7
駅ビル・不動産	75	0	9
ビジネスサービス	280	6	7
連結調整	(▲202)	(▲6)	(▲9)
連結	767	▲152	87

※1) 2025年度は、営業外損益から売却益等一過性のものを除き算出

※2) 営業外損益は全て運輸セグメントに含む

## 参考データ / 設備投資計画（単体・グループ会社）

（単位：億円）

単 体		概 要	金 額
輸 送 設 備 の 維 持 更 新	老朽設備取替	多度津工場近代化、電気設備等の地上設備更新 等	95
	保安・防災対策	高架橋の耐震化、トンネル・橋りょう補強等の機能保全 等	14
	安定輸送対策・その他	PC・合成マクラギ化・道床厚増化等の軌道強化、レール張り出し対策 等	9
経 営 の 体 質 改 善	業務運営方式の改善	多度津駅のバリアフリー化、徳島駅への自動改札機導入 等	14
車 両		特急電車・ローカル気動車のリニューアル 等	20
そ の 他			3
鉄道事業計			155
（再掲）		安全関連投資	120
維 持 更 新		クレメント徳島ユニットバス取替、道後やや空調取替 等	3
成 長 投 資		「コートヤード・バイ・マリオット高知」開発、サーモン陸上養殖の展開 等	52
非鉄道事業計			55
合 計			210
グ ル ー プ 会 社		新車購入(バス)、新規ホテル開業、賃貸マンションのリノベーション 等	21

参考データ / JR四国グループ一覽



ホテルセグメント

～交流人口拡大による利用者増～

(株)JR四国ホテルズ



飲食・物販セグメント

～「駅ナカ」の充実「駅ソト」展開による利益の拡大～

四国キヨスク(株)  
(株)めりけんや



駅ビル・不動産セグメント

～まちづくりと連動した駅ビルの開発  
所有不動産の有効活用～

JR四国不動産開発(株)  
JR四国ステーション開発(株)



運輸セグメント

～グループの中核となる基礎的・戦略的  
インフラによる流動の拡大～

四国旅客鉄道(株)  
ジェイアール四国バス(株)  
四鉄運輸(株)



ビジネスサービスセグメント

～技術力やノウハウの蓄積による  
グループ外収益の拡大～

(株)ジェイアール四国企画  
JR四国ソリューション(株)  
四国鉄道機械(株)  
(株)ジェイアール四国メンテナンス  
(株)駅レンタカー四国  
東京セフティ(株)  
四国医療器(株)  
JR四国パステルクロバー(株)

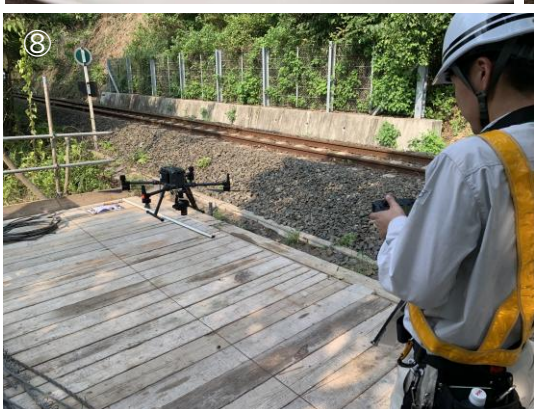
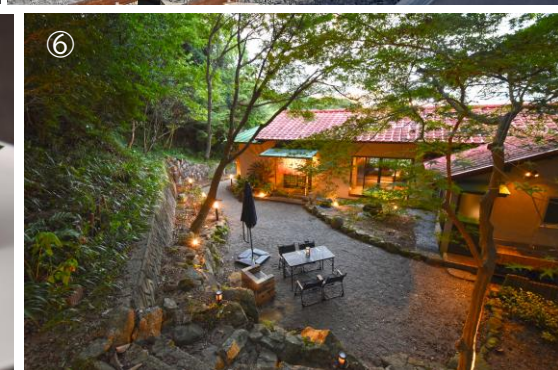


建設セグメント

～鉄道事業と一体となった  
安全・安定輸送の確保～

四国開発建設(株)  
四国電設工業(株)  
本四塗装工業(株)  
(株)基礎建設コンサルタント  
(株)津島工業※

シナジー効果の創出  
地域の課題解決への貢献



- ①岡山新ホテル（イメージ） ②3600系ハイブリッド式ローカル車両 ③四国開発建設(株)による伊予鉄道花園線軌道移設工事  
 ④当社オリジナルブランド「O'SHIKOKU」（ロゴ）と新規商品（別撰別子飴） ⑤当社ブランド「サイモン」を使用した料理 ⑥鈴音 by 4S STAY（香川県さぬき市）  
 ⑦(株)ジェイアール四国企画によるまると駅広告 ⑧(株)基礎建設コンサルタントによるUAV測量 ⑨四国医療器(株)による病院内営業イメージ  
 ⑩(株)津島工業による行川川砂防メンテナンス工事 ⑪JR四国パステルクロバー(株)によるデザインワーク

つなぐ、創る、

